

果敢な地方分権改革を求める
～麻生太郎自由民主党新総裁誕生に当たって～

本日、自由民主党の総裁選挙が行われ、同党の多くの国会議員や圧倒的多数の地方組織の支持を得て、麻生新総裁が誕生した。

新総裁は、「強くて明るい日本をつくる」ため、経済の安定と成長を基本政策として掲げるとともに、地方分権を必須の改革と位置づけている。地域の経営は地域に任せるべきであり、地方の意向を尊重しながら、自らのリーダーシップで分権改革に取り組むとの決意を示されていることは、地方にとって誠に心強い限りである。

また、今回の総裁選挙を通じて、各候補からも地方分権への強い意欲が示された。

今後、新総裁のもとで、自由民主党が、真の地方分権の確立、地方税財源の充実強化、住民生活の安定に向けた社会保障制度の構築等を図るため、我々地方と密接に協議しながら実効ある改革を次のとおり果敢に進められるよう強く求める。

1 第二期地方分権改革の推進

国の権限・財源の地方への移譲を推進し、まずは国と地方の税源配分を5：5にするとともに、国の出先機関を廃止・縮小し、国と地方の二重行政を解消すること

2 地方交付税の復元・増額

歴年にわたる地方交付税の削減の結果、危機的な状況にある地方財政を直視し、早急に地方交付税を復元・増額すること

3 地域の再生

人口減少と少子高齢化が同時に進行している地方を活性化するため、地方再生対策や景気対策を効果的に実施すること

4 社会保障制度の構築

年金や医療制度を見直し、国民が安心できる制度となるよう再構築すること

平成20年9月22日

全国知事会会長
麻 生 渡